

この“街”のすべてが“わが家”です “街に住む”醍醐味を体感する 六本木ヒルズレジデンスでの暮らし

生活・文化・ビジネス面での様々な刺激が得られるこの“街”に住む楽しさとは。居住者の日常をサポートしているフロントスタッフに聞いてみました。



総面積1800㎡のヒルズスパのプール（左上）と、フィットネスジム（左下）。平日には医師が勤務し、24時間バイリンガルの看護師が常駐する健康相談室。小さなお子様のいるご家族にとくに重宝がられています（右上）。B棟の最上階42階にある居住者専用のスカイラウンジ。親睦会や同窓会、結婚式の二次会などでよくご利用されています（右下）。

六本木ヒルズレジデンス

特長：24時間フロントサービス、ジムとスイミングプールのあるヒルズスパ、健康相談室

月額賃料：¥400,000（1BR 47.58㎡）～
¥3,000,000円（4BR 263.68㎡）
2011年2月1日時点

★Web限定キャンペーン情報はこちら
www.moriliving.com

この街を熟知するフロントスタッフ

「六本木ヒルズは、衣・食・住・遊ぶすべてがそろった一つの“街”です。この“街”に住んで、快適な生活をしていただくために、私たちはお手伝いしています」

都心の中の都心という立地、各ビジネスエリアへも抜群のアクセス。

春は桜、夏は盆踊り、秋は東京国際映画祭、冬はけやき坂のイルミネーション。

68,000本の樹木、田んぼもある屋上庭園、200を超える店舗、そのうち100軒におよぶレストランやカフェ、9つのスクリーンを

持つ映画館、美術館、ライブラリー、ホテル、六本木ヒルズクラブ、そして六本木ヒルズレジデンス。

この六本木ヒルズに住むと何があり、何ができ、どう暮らせるのでしょうか。そして何よりもどう楽しく過ごせるのでしょうか。

六本木ヒルズレジデンスのフロントマネージャー中井秀幸さんに、この“街”に住む魅力を説明してもらいました。

「六本木ヒルズレジデンスには、棟内に会員制のヒルズスパ、慈恵医大病院と提携している健康相談室、最上階42階にスカイラウンジとゲストルームがあります。居住者の方は、グランドハイアット東京のシェフによる料理教室、六本木ヒルズや表参道ヒルズに店舗がある有名ブランドのシークレットセール、映画の先行上映会などに参加できるほか、スマイルプログラムなどがあります」

スマイルプログラムとは、MORI LIVING賃貸居住者向けのサービスで、対象店舗を利用すると様々な優待が受けられます。この他にも六本木ヒルズレジデンスでは、

様々な取り組みを行っております。

「いろいろな国の方々がお住まいなので、居住者の皆様同士の親睦を深めるためにも、積極的にイベントを行っています。お花見のころにはスカイラウンジに花を設え、鉛細工職人などを呼んで日本らしい風情に触れていただくなど、季節ごとのイベントを開催しています」

なかでも特筆すべきは昨年のハロウィンパーティー。思い思いの衣装で着飾り、集まった250人のゲストの前で、六本木ヒルズレジデンスのスタッフ14名が、なんとマイケル・ジャクソンの「スリラー」を披露したのです。これには居住者のみなさまもびっくり、大喜び。

実は振付けを完璧にこなせるように、この日のために3カ月かけて密かに練習してきたのです。スタッフにとっても思い出に残るイベントでした。

「毎年クリスマスには、デリバリー・サンタとって、スタッフがサンタの扮装をして各戸を回り、お子様たちにプレゼントを差し上げています。小さなお子様からサンタ宛にお礼の手紙をいただくともあります。

うれしいですね」

中井さんの日常は、フロントでの応対、電話での問い合わせなど、居住者の方からの相談や要望などで多忙そのもの。

そんな合間をぬってダンスの特訓をしたり、サンタに扮したりと、スタッフはサービス、ホスピタリティだけでなく、エンターテインメントも提供しているのです。「やはり喜んでいただけるのがいちばん

開かれていますが、そこで率先して通訳をしている外国人居住者もいるそうです。

「どうしても聞くと、“何でもそろい、ハッピーなので何かお手伝いしたいから”とおっしゃいます。いろいろな人に会えてうれしそうです」

居住者のみなさまの国籍もますます多岐にわたり、英語を話せるだけでは不十分なので、中国語や韓国語を話せるスタッフも用意しています。

「外国の方に母国語で話しかけると、ほっとした表情になるのがわかります。居住者の方から最も求められるのは、迅速なサービス、スキンシップやコミュニケーション、とくに外国の方からは、できるだけはっきり言ってほしいと言われるます。こうしたことに真摯にお応えし、この“街”での生活を楽しんでいただけるよう、

毎週土曜、朝市を開催。全国から新鮮な野菜などが届けられます。



ご協力してまいります」
充実した施設や多くの特典に加えて、日常生活をサポートし、居住者のみなさまの毎日を支える中井さんをはじめとするフロントスタッフ。この“街”を熟知した彼らのような存在があるからこそ、六本木ヒルズに住む醍醐味を、より体感していただくことができるのです。



3カ月の特訓で「スリラー」を披露したスタッフ

うれたときなど、サービススタッフ冥利に尽きます」

六本木ヒルズでは毎週土曜には朝市が

お問い合わせ 森ビル株式会社 住宅営業部 ☎0120-52-1806 URL : www.moriliving.com



六本木ヒルズレジデンスのフロントで勤務中の中井さん。